

National DPC データベースを用いた心房細動に対する待機的カテーテルアブレーションの周術期死亡リスクの評価に関する研究のお知らせ

国立病院機構大阪医療センターでは、日本循環器学会（以下本学会）が実施する全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベースを利用して「National DPC データベースを用いた心房細動に対する待機的カテーテルアブレーションの周術期死亡リスクの評価に関する研究」を行っています。本研究は国立循環器病研究センターの情報利用促進部との共同研究で行われています。

[対象となる方]

本学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設に 2012 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に心房細動に対するカテーテルアブレーションにて入院された患者さんです。

[研究期間] 研究許可日～2029 年 12 月 31 日

[研究課題名]

National DPC データベースを用いた心房細動に対する待機的カテーテルアブレーションの周術期死亡リスクの評価に関する研究

[研究組織]

研究代表者：国立病院機構大阪医療センター 循環器内科 井上耕一
国立循環器病研究センター 情報利用促進部 金岡幸嗣朗

[研究の目的]

本研究は、心房細動アブレーションの周術期死亡率、その背景にある要因・リスク因子を明らかにすることによって、この治療を広く行うことの妥当性を検証することを目的とします。

[利用する情報]

本研究では、「日本循環器学会循環器疾患診療実態調査（JROAD*）データベース」から個人を特定できないよう加工されたデータベースが作成され、さらにそこから、カテーテルアブレーションおよび比較対象としての経皮的冠動脈形成術（PCI）に関する項目を抽出・整理した研究用データベースが JROAD データセンターにて作成されます。私たちはその最終的な研究用データベースの提供を受けて解析を行います。

* JROAD の概要に関するホームページ: https://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/about/summary/

JROAD から提供を受け、本研究で利用する情報

年齢、性別、発症年月日、入院年月日、入院経路、病名、併存症名、合併症名、入院前 NYHA スコア、画像診断・検査の有無、リハビリテーションの有無、退院先、退院時 DPC コード、院内死亡の有無、在院日数、退院時転帰、入院中および外来時の処置・手術内容、実施日、使用された薬剤・医療材料など。

[情報等収集開始日]

2025 年 5 月 26 日

[個人情報の取り扱い]

お名前、住所などの個人を特定する情報を含まない既存のデータベースを用いた研究です。従いまして、学会や学術雑誌等で公表する際に個人が特定されることはございません。また、個人を特定して個別にデータを削除することはできません。データベースは国立循環器病研究センターで保管し、解析も同センター内で行われます。

[問合せ先]

国立病院機構大阪医療センター 循環器内科 井上耕一

TEL：06-6942-1331